

2019年10月期第1四半期
(18/11~19/1)

決算短信説明資料

萩原工業株式会社
(東1 コード番号:7856)

目 次

I .2019年10月期第1四半期 決算業績と主要事項

売上分析(連結)

営業利益分析(連結)

セグメント・子会社概況

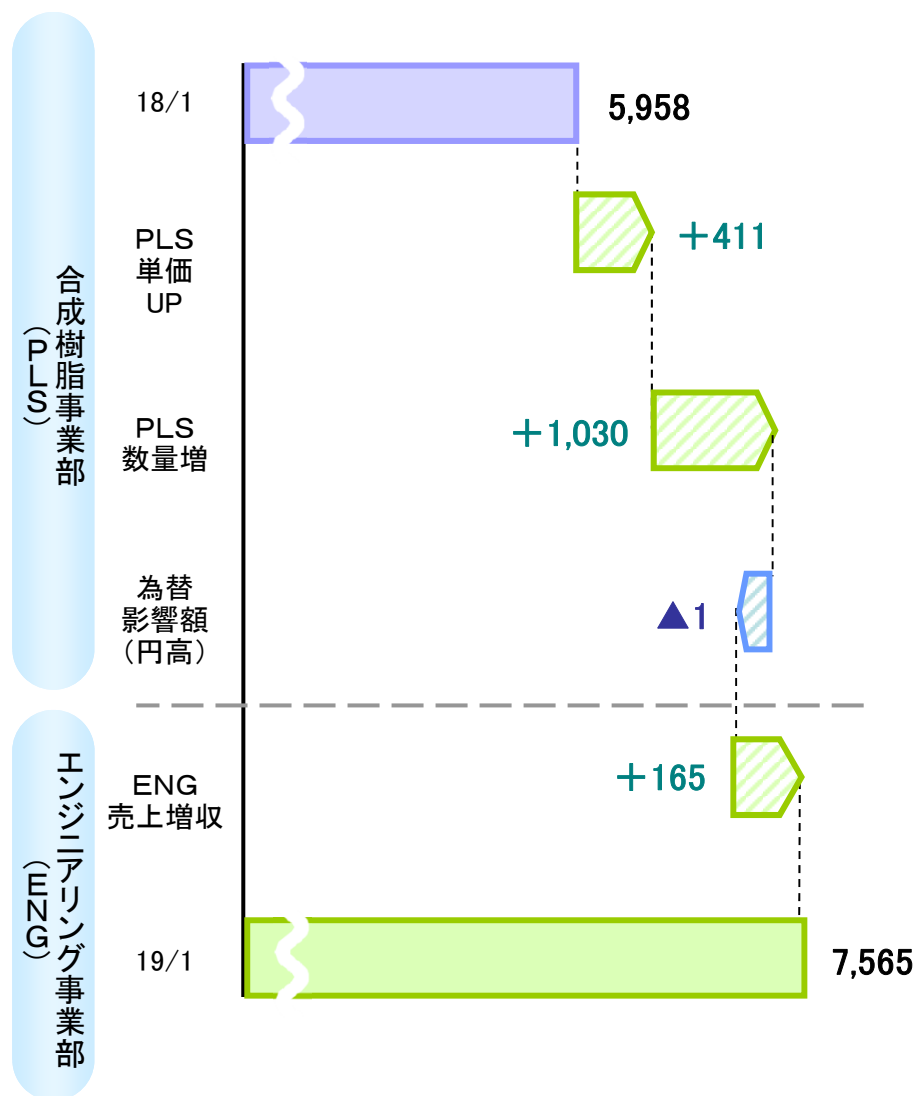
B/S(連結)

たな卸資産・売上債権の
回転日数(連結)

業績一覧(連結・単体)

II .補足資料

I-1 売上分析(連結)



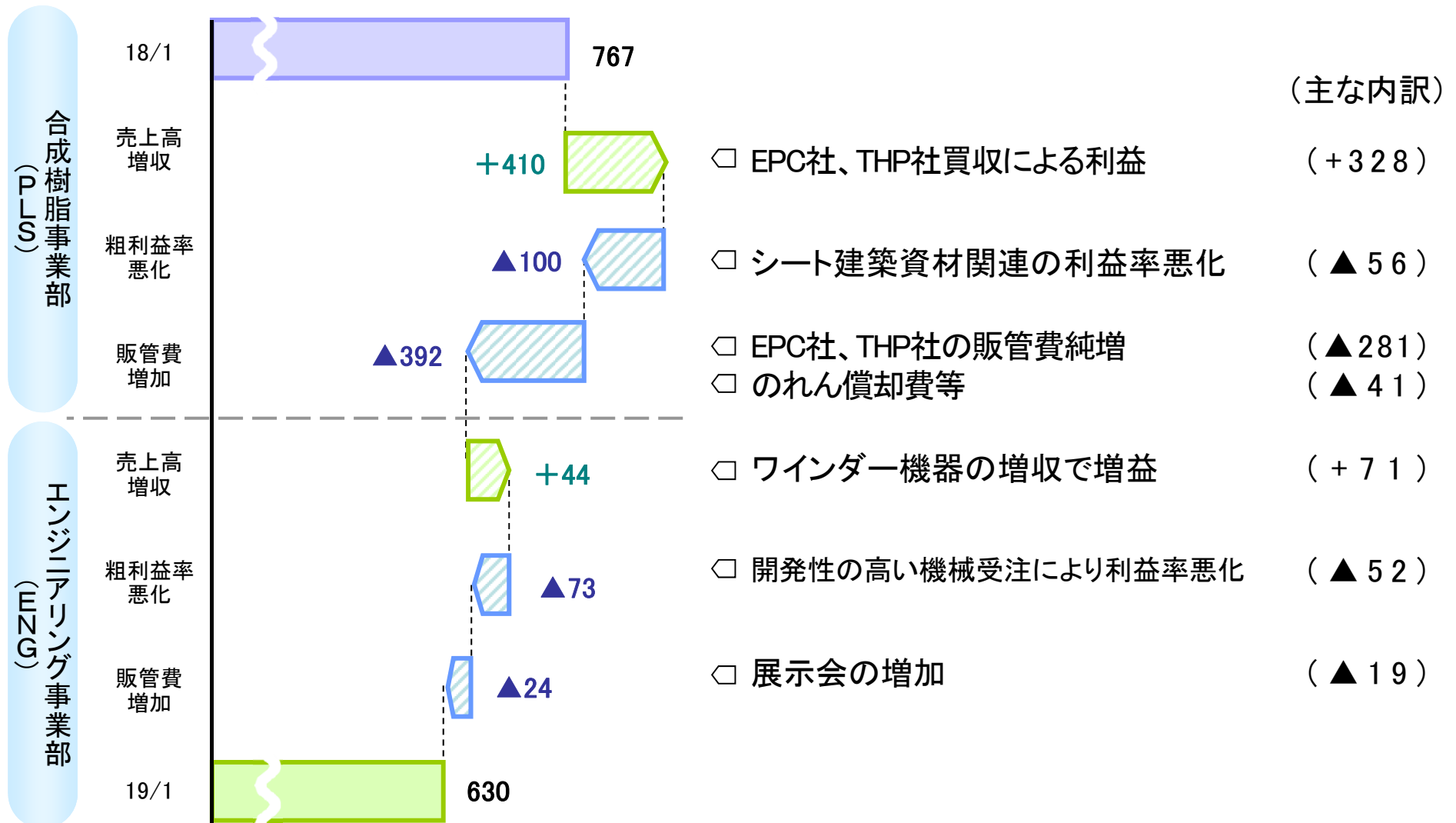
■用途別売上高

(単位:百万円)

用途	19/1期			18/1期
	実績	構成比	伸び率	
工事用シート、メッシュ、土のうシート・建築資材関連	1,529	20.2	+13.3%	1,349
産業資材関連 バルチップ、フレコン袋	2,609	34.5	+29.6%	2,012
生活資材関連 粘着用クロス、人工芝用原糸	1,573	20.8	+64.8%	954
その他合成樹脂 仕入商品等	274	3.6	+20.8%	226
機 スリッター、再生機、ワインダー	1,580	20.9	+11.7%	1,414
合計	7,565	100.0	+27.0%	5,958

I-2 営業利益分析(連結)

(単位:百万円)



I-3 セグメント・子会社概況

(単位:百万円)

										連結
	合成樹脂 事業部	エンジニア リング事業 部	単体	日本ファブ ウエルド	ハギハラ・ ウエスト ジャワ・ インダスト リーズ社	青島 萩原工業 有限公司	EPC ホールディ ングス社	東洋平成 ポリマー	萩華 機械技術 (上海) 有限公司	
売上高	4,238	1,595	5,833	121	1,030	187	659	1,104	166	7,565
営業利益	343	108	451	18	61	4	73	29	5	630
経常利益	357	114	471	19	62	3	60	27	7	616
当期純利益	—	—	340	13	41	1	45	17	4	423
流動資産	—	—	12,685	104	1,511	469	1,762	2,630	345	18,104
固定資産	—	—	12,439	186	1,703	386	72	1,672	70	13,038
純資産	—	—	20,410	207	1,373	812	941	1,118	263	21,177
総資産	—	—	25,125	290	3,214	856	1,834	4,302	415	31,142

合成樹脂事業部(PLS)

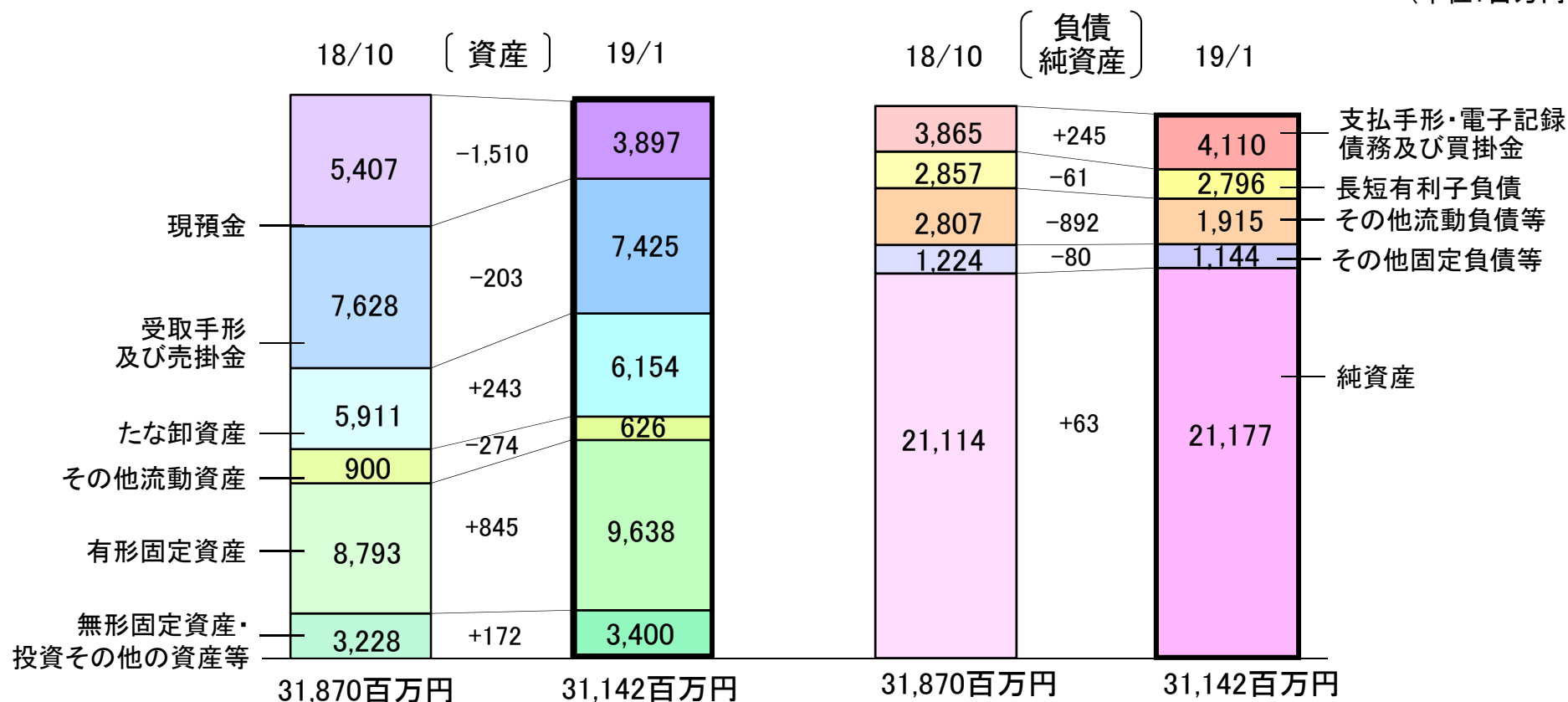
- 原料価格の高止まり
- 粘着テープ用クロスが堅調

エンジニアリング事業部(ENG)

- フィルムスリッター、ワインダー機器が順調
- 開発性の高い機械受注増

I-4 B/S(連結)

(単位:百万円)



流動比率

219.9% (前期223.4%)
<3.5ポイント悪化>
流動資産減少(1,743百万円)
流動負債減少(653百万円)

長期固定適合率

56.9% (前期52.3%)
<4.6ポイント悪化>
固定資産増加(1,016百万円)
自己資本増加(62百万円)

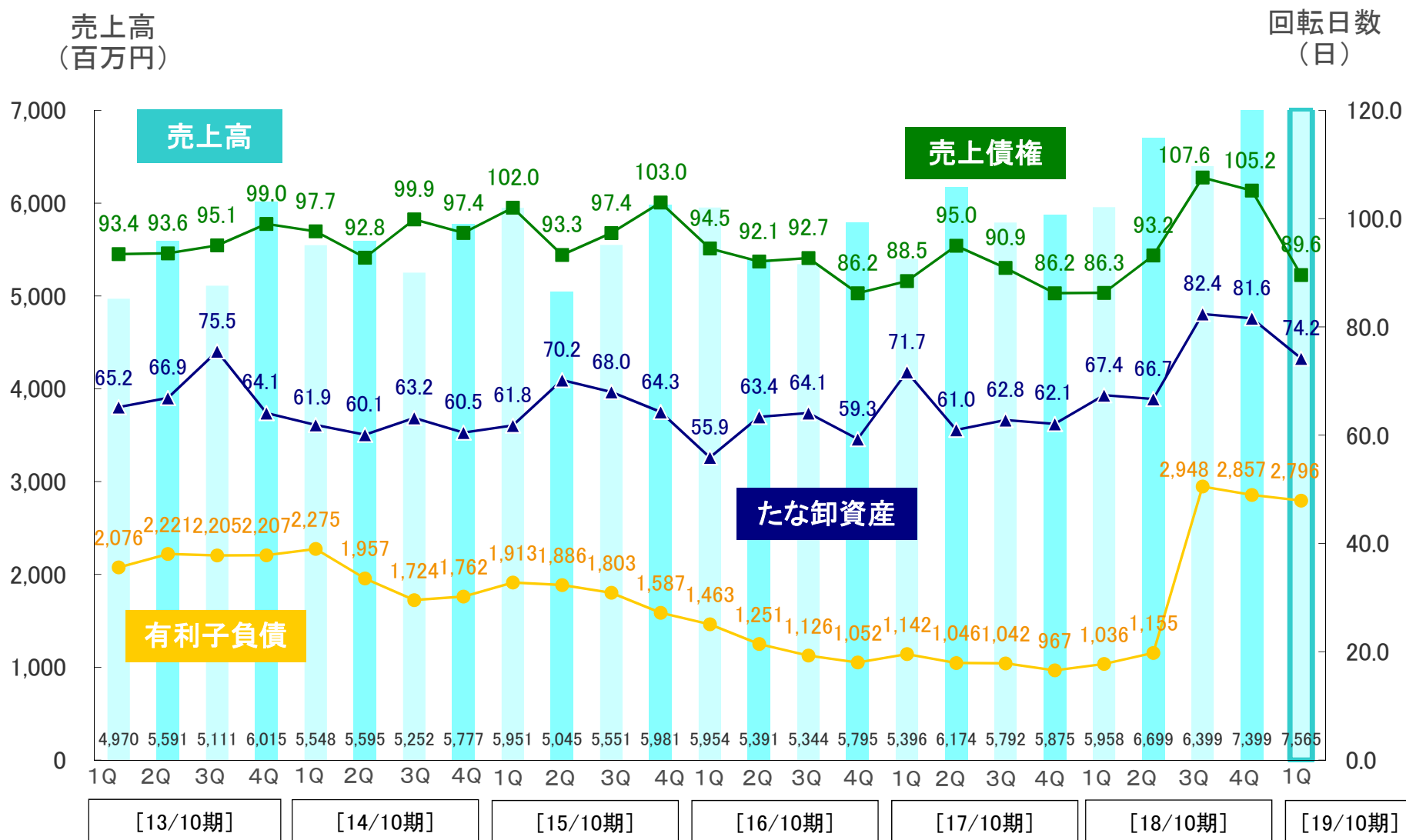
固定比率

61.6% (前期56.9%)
<4.7ポイント悪化>
固定資産増加(1,016百万円)
自己資本増加(62百万円)

自己資本比率

68.0% (前期66.2%)
<1.8ポイント改善>
自己資本増加(62百万円)
総資産減少(727百万円)

I-5 たな卸資産・売上債権の回転日数(連結)



I -6-(1) 業績一覧(連結)

(単位:百万円)

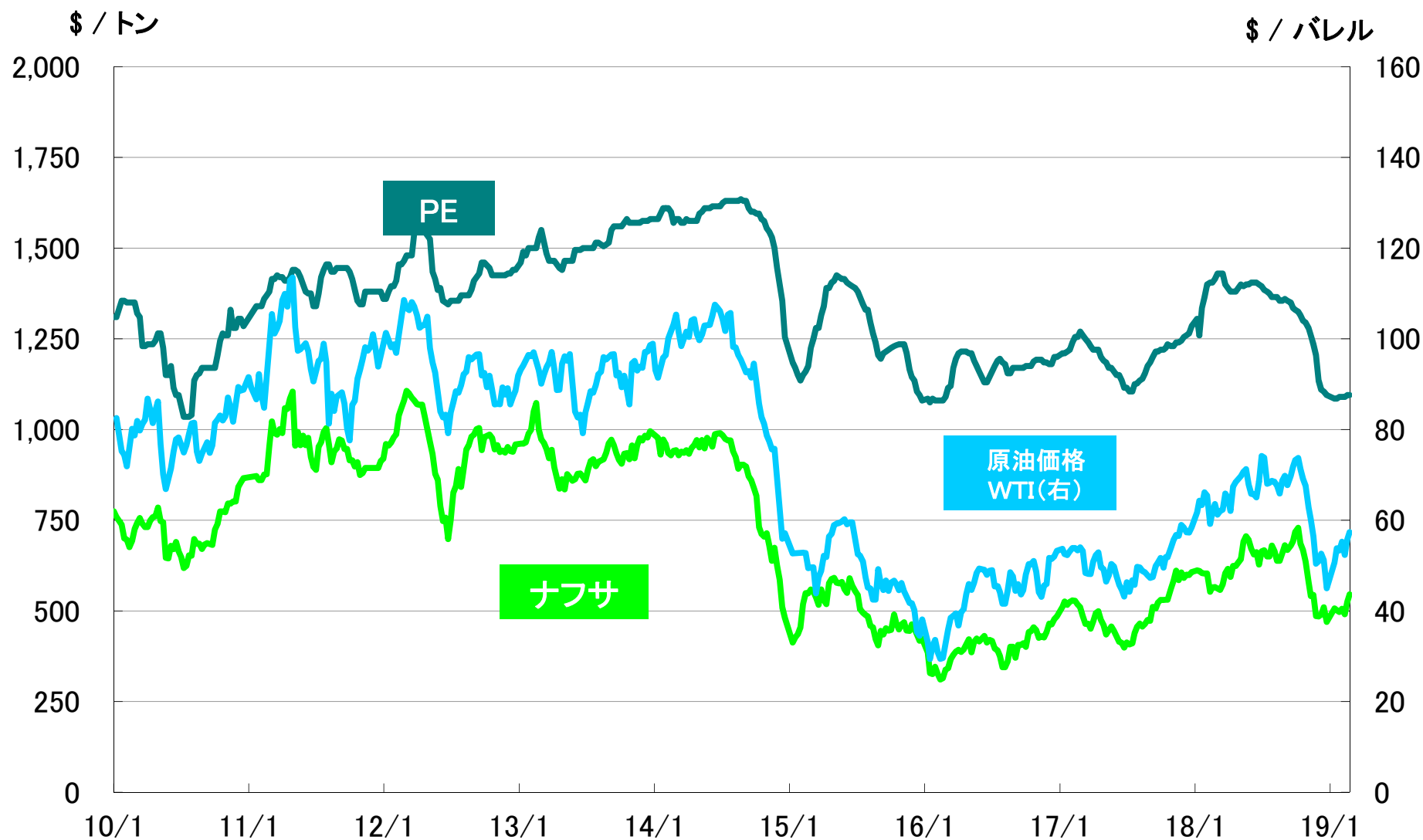
	19/1期		前年同期比較			19/1期		前年同期比較	
	実績	売上高比	増減	伸び率		実績	増減	伸び率	
売上高	7,565	100.0%	+1,607	+27.0%	総資産当期純利益率(R O A)	5.4%	-2.3%	—	
売上総利益	2,035	73.1%	+280	+16.0%	自己資本当期純利益率(R O E)	8.0%	-2.5%	—	
営業利益	630	8.3%	▲136	-17.8%	売上高対総資本回転率	0.97回	0.09回	—	
経常利益	616	8.2%	▲154	-20.0%	自己資本比率	68.0%	-6.3%	—	
親会社株主に帰属する当期純利益	423	5.6%	▲101	-19.3%	フリーキャッシュフロー	▲758	▲467	—	
自己資本	21,175	—	+1,048	+5.2%	1株当たり当期純利益	29円29銭	▲7円01銭	-19.3%	
総資産	31,142	—	+4,043	+14.9%	1株当たり純資産	1,463円86銭	72円49銭	+5.2%	
設備投資額	1,247	—	+1,064	+585.2%	研究開発費	123	+30	+32.9%	
減価償却額	279	—	+51	+22.6%	E B I T D A (償却前営業利益)	910	-85	-8.6%	

I -6-(2) 業績一覧(単体)

(単位:百万円)

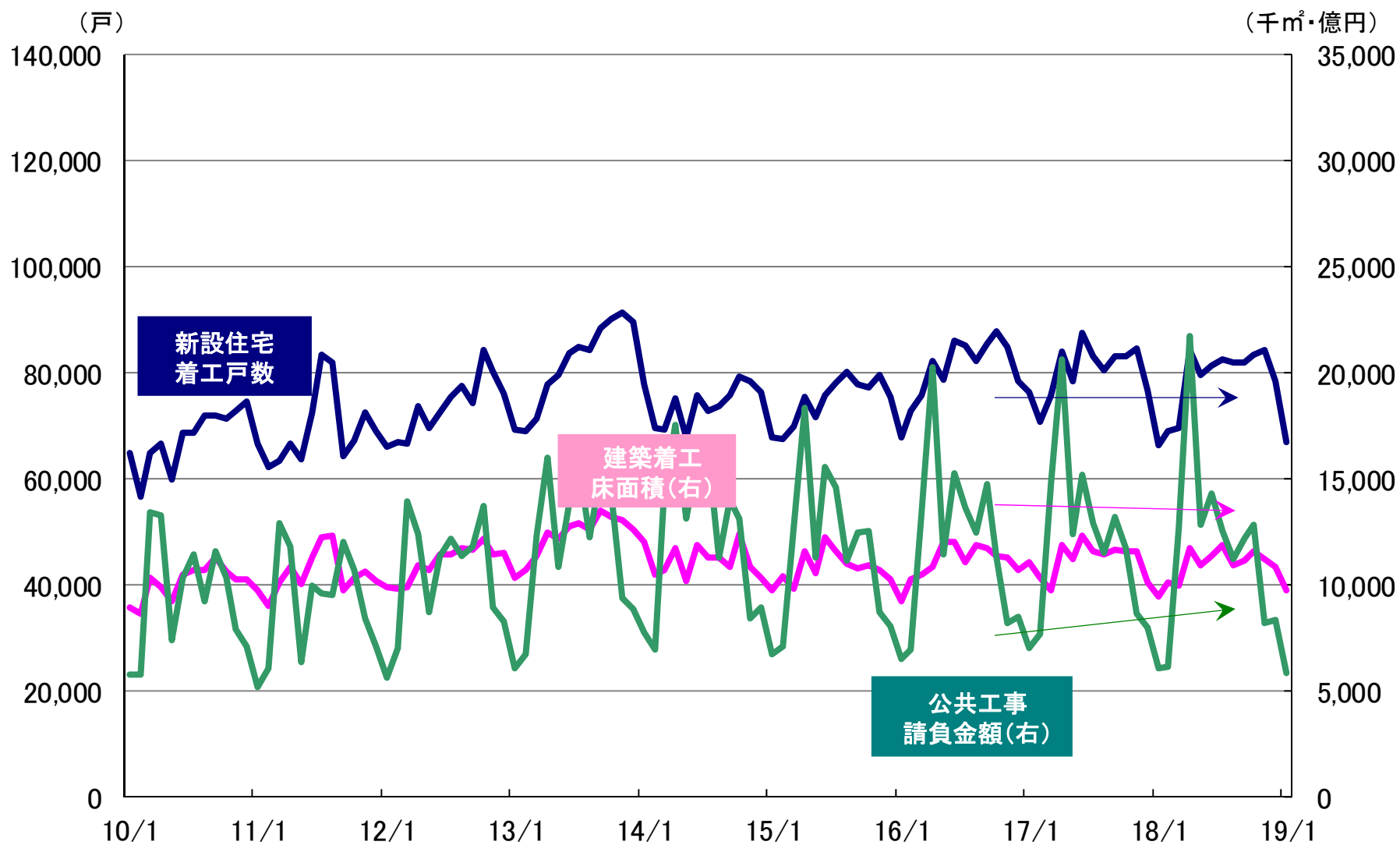
	19/1期		前年同期比較			19/1期		前年同期比較	
	実績	売上高比	増減	伸び率		実績	増減	伸び率	
売上高	5,833	100.0%	400	+7.4%	総資産当期純利益率(ROA)	5.3%	-2.9%	—	
売上総利益	1,465	25.1%	▲130	-8.2%	自己資本当期純利益率(ROE)	6.7%	-3.9%	—	
営業利益	451	7.7%	▲254	-36.0%	売上高対総資本回転率	0.93回	0.04回	—	
経常利益	471	8.1%	▲240	-33.8%	自己資本比率	81.2%	2.8%	—	
当期純利益	340	5.8%	▲163	-32.5%	フリーキャッシュフロー	▲717	▲492	—	
自己資本	20,410	—	1,247	+6.5%	1株当たり当期純利益	23円51銭	▲11円30銭	-32.5%	
総資産	25,125	—	690	+2.8%	1株当たり純資産	1,410円88銭	86円25銭	+6.5%	

原油/ナフサ/PE価格推移



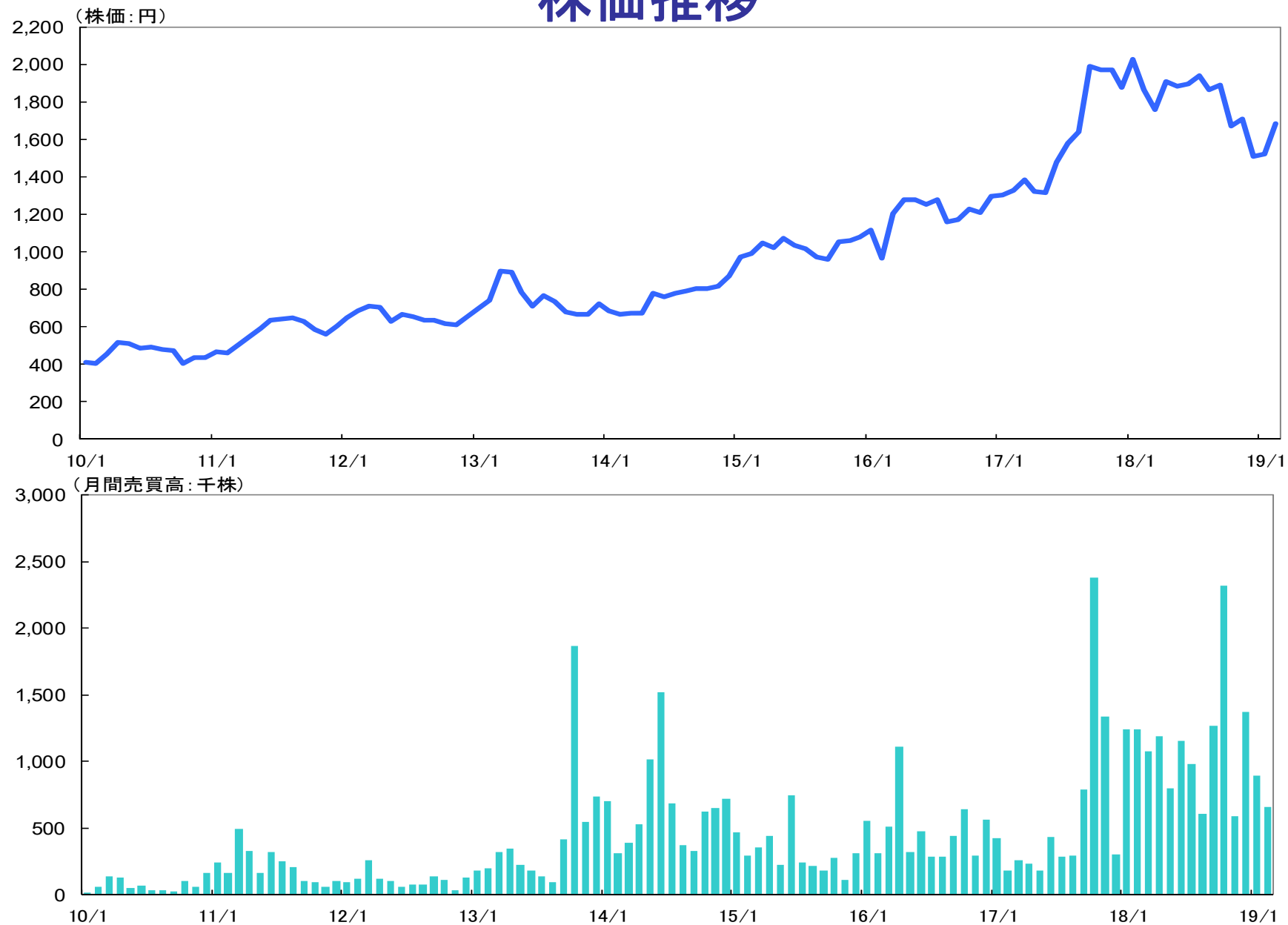
(出所: 市況データをもとに当社作成)

住宅・建築関係指数の推移



(出所:国土交通省 統計情報)

株価推移



主要株式指標の状況

	19/1末	直近実績 3月8日	
株価	1,525円	1,584円	
配当額(19/10末予想)	32円		
配当性向	27.3%		
BPS(1株当たり純資産額)	1,463円86銭		
EPS(1株当たり純利益額)	29円29銭		
PBR(株価純資産倍率)	1.04倍	※	1.01倍
PER(株価収益率)	13.02倍	※	11.46倍
株主数(18/10末)	9,528名		

※ 1. 公表業績予想の数値を元に算出

経営理念

フラットヤーン技術を大事にしながら、常に変革し続け、世のため人のために役立つ会社であろう。

社 是

- 一、萩原工業は業界をリードする
- 一、萩原工業は信用に生命をかける
- 一、萩原工業は恩義を忘れない
- 一、萩原工業の社員は創意を尚び、
自己の責任を果すことに悦びを持つ

概要

萩原工業	関連子会社					
<p>設立 1962年11月</p> <p>資本金 17億78百万円</p> <p>代表者 浅野和志</p> <p>事業内容 フラットヤーン 関連製品および 産業機械の 製造・販売</p> <p>社員数 464名</p> <p>所在地 岡山県倉敷市水島</p>	<p>日本 ファブウエルト*</p> <p>1967年7月</p> <p>9,000万円</p> <p>犬飼正樹</p> <p>ラミクロスの シート加工</p> <p>34名</p> <p>岡山県笠岡市</p>	<p>PT. HWI</p> <p>1995年3月</p> <p>1,000万 米ドル</p> <p>小黑宰芳</p> <p>ペーパークロス 袋、コンテナ バッグ等の 製造・販売</p> <p>751名</p> <p>インドネシア ／ジャカルタ</p>	<p>青島萩原工業</p> <p>2002年12月</p> <p>7億円</p> <p>岡田清広</p> <p>フラットヤーン 関連製品の 製造・販売</p> <p>86名</p> <p>中国 ／山東省青島</p>	<p>EPC HD</p> <p>2007年9月</p> <p>5百万 シンガポールドル</p> <p>萩原佳明</p> <p>コンクリート 補強繊維の 販売</p> <p>16名</p> <p>シンガポール</p>	<p>東洋平成 ポリマー</p> <p>1943年7月</p> <p>1億円</p> <p>萩原邦章</p> <p>合成樹脂製 包装資材及 び加工品の 製造・販売</p> <p>137名</p> <p>茨城県 かすみがうら市</p>	<p>萩華機械 技術(上海)</p> <p>2005年1月</p> <p>1億35百万円</p> <p>飯山辰彦</p> <p>自動機器製品 の設計</p> <p>36名</p> <p>中国／上海</p>

資料についてのご注意

この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。

しかしながら現実には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生等により、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいります。本資料記載の業績見通しのみにより全面的にご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送等を行われぬようお願いいたします。